

FIERYサーバーとUNIFLOWの連携

例

- uniFLOWのワークフローを導入しており、Fieryデジタルフロントエンド（DFE）を搭載しているプリンターを含む、各種のデバイスでのアクティビティの記録や管理を検討中
- 最適なプリンターへのジョブの自動ルーティング/リルーティングが必要なのに、お使いのFiery DFE搭載多機能プリンターとuniFLOWがまだ連携していない

メリット

- 既存のuniFLOWのワークフローを利用し、プリンターをFiery DFEと連携することによって、生産性が向上し、正確な色表現と優れた画像品質を実現できます。
- Fiery DFEを含む全プリンターの印刷関連コストや報告を管理できます。
- 最適な設定とメディア選択をマッピングするユニバーサルドライバーにより、最適なプリンターで簡単に印刷できます。
- Fiery DFEの文書をセキュアに印刷、スキャンできます。

UNIFLOWの特長

- Fiery DFEは、uniFLOWのワークフローや機能と互換性があり、以下を実現します。
 - 経費の把握と報告
 - デバイスのロックと認証
 - セキュアプリント
 - モバイルやゲストからのセキュアな印刷
 - 高度なスキャン
 - 印刷室の管理

UNIFLOWをサポートするようにFIERYサーバーを設定する

uniFLOWを使用してFieryサーバーに印刷ジョブを送信できます。現在uniFLOWをサポートしているFieryサーバー製品の一覧については、製品担当者にお問い合わせください。

uniFLOWを使用することで、uniFLOW以外の方法（Fiery Driverより送信された印刷や、Fiery Command WorkStation®より送信された再印刷など）でFieryサーバーに送信された印刷ジョブを管理することもできます。uniFLOWから送信されていない印刷ジョブの管理を許可するには、uniFLOWのサーバー設定でCPCA（Common Peripheral Controlling Architecture）部門管理を有効にします。

- Fieryサーバーの追加情報については、Fieryサーバーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- uniFLOWの詳細については、uniFLOWの取扱説明書（www.nt-ware.com）をご覧ください。

ステップ

1. Fieryサーバーでファイルの印刷または処理が行われていないことを確認します。
2. プリンターのタッチパネルで、メインメニューボタンを押します。
3. Fieryロゴが表示されていない場合は、製品に応じて、すべて表示またはコントロールパネルの右下隅にある矢印を押します。
4. Fieryロゴを押します。Fieryサーバーのタブが表示されます。
5. ツール> 設定を押します。
6. プロンプトが表示された場合はシステム管理者の権限でログインします。パスワードを入力し、下へスクロールしてからログインをクリックします。
システム管理者のパスワードは、初期設定で**Fiery.1**（大文字/小文字を区別）となっています。

注意：プリンターのタッチパネルでFieryサーバーの設定から指定した時間が経過すると、システム管理者のログインは自動的にタイムアウトになります。デフォルトのタイムアウトは5分です。タイムアウトのメッセージが表示されたら、下へスクロールして、OKを押して続行します。

1. ネットワークタブを押します。
2. プロトコル領域でIPポート設定を押します。
3. ポートを使用するを選択してから下へスクロールし、その他のポート（他のポートを使用可能にするとして表示される場合があります）を選択します。
4. その他のポート設定を押します。
5. ポートの追加を押し、ポート番号を入力してから、OKを押します。次のポート番号を入力します。
 - 19100
 - 53213
 - 53214
6. 変更の保存を押します。
7. 変更を実装するには、Fieryサーバーをリポートします。

メインメニューボタンを押すと、いつでもプリンターのタッチパネルのメイン画面に戻ることができます。